

目 次

序	(1)
1. 緒 論	(2)
2. 一般式の作成	(5)
3. 1回の被曝に引きつづく無期限の期間にわたって次第に 減少する取り込み	(7)
A. 緒 論	(7)
B. 肺における非可搬性放射性核種の残留	(7)
C. 汚染された肺から肺リンパ節への沈着	(8)
D. 汚染された肺から尿への排泄	(10)
E. 汚染された肺から骨格への沈着	(12)
F. 傷の汚染につづく骨格への沈着と排泄	(15)
4. 限定された期間内の数回の取り込み	(16)
A. 緒 論	(16)
B. 骨親和性核種と他の核種との代謝の相違	(22)
C. 図5～10に対する一般的説明	(23)
5. 引用文献	(31)
6. 付 録	(33)
A. 基本式の誘導	(33)

(ii)

B. ICRP Publication 10に記載の10核種に対する

残留関数と排泄関数……………(36)

C. 細胞外液中に取り込まれた元素の総排泄のうち，尿による

割合 (F_u) と糞による割合 (F_f)……………(37)

D. 取り込み率一定の期間につづく排泄に対する誘導調査レベル……………(38)

